



神明われら 誇りは高し 平成 30 年 3 月 13 日

学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

校長 杉山 善之

校訓「自主・自律」は「コペルニクスの転換」！

平成 29 年度が終わろうとしています。皆さんにとってどのような「1 年」、
「学年」でしたか？3 年生にとっては「進路決定」、1 年生は「中学校生活」、2
年は「中学校のど真ん中」。それぞれの人、それぞれの「学年」の位置づけの中
で、どれだけ充実していたのか、もの足りなかったかと感じたかです。そして、
それをもとに、これからどうしたいかです。

学校には、日々の授業、行事、委員会、部活動などの場面で、考え、解決する
チャンス＝機会があります。そのチャンスを、あなたはどうかとらえ、どう行動し
ますか。そして、その行動の結果をどう考え、次につなげ、どう行動しますか？
チャンスは取り組む内容は違いますが、何度もあります。自分で考え、分からな
いときは、周りの人（友達、ご家族の方、先生もいます）に相談し、課題を発見
し、解決策を考え、実行する。この繰り返しです。そうやって、あなたの学校生
活は、与えられるものではなく、「自分」で創るものになります。

P T A 運営委員会だよりでも述べましたが、中学生の課題図書でもあり、最近
ベストセラーになっている「君たちはどう生きるか」を読みましたか？本校の図
書室にも置いてあります。是非読んでみてください。主人公は「コペルくん」、旧
制の中学生と思われる。世界は神が創った。だから、万物が「地球」を中心
に回っている＝「天動説」と考えられていた時代に、今、誰もが信じる「地球」が
太陽の周りを回っているという「地動説」を唱えたのは、科学者コペルニクスで
した。物事の究極の原理を根本的に覆す発想、ここでは天動説から地動説への転
換を「コペルニクスの転換」といっています。「コペルくん」はそれをなぞらえた
のでしょうか。

「地球」を「自分」に置き換えます。小さいころは、「自分」中心ですから、身
の回りのことを「自分」中心に考えます。しかし、現実の世の中は、身の回りの
事象の中に「自分」がいます。「自分」の身の回りには、「自分」と違った様々な
考え方や行動をする人がいます。だから、「自分」のものの見方や考え方だけで、
ものごとを解決することは難しいです。しかし、周りの人の見方や考え方だけ
に従って生きているのは「自分」が失われることもあります。だから「自分」の中
にどうすべきかの行動基準をつくり、「自分」も動けと言っているのでしょうか。
つまり、「汽水域」を越えて「大人になる」ということは、「自分と周り＝他者との
関係」を意識して、「自分も動く」ということではないのでしょうか？

また、それは、校訓「自主・自律」とも関係します。「コペルくん」も、あらゆる
事象を「自分」との関係で考え、課題を発見し、その課題を解決すること＝
「自律」、また、「自ら動け」＝「自主」という意味で付けられたのではないで
しょうか。大人への汽水域から続く長い人生、たくさんのできごとに遭遇します。
あなたも、自ら動く＝「自主」、「自分」の周りとの関係性の中で解決する＝「自
律」の「コペルニクスの転換」を試してみたらどうでしょう。

【遊びのフェスタ～小中一貫教育の取り組み】



2月17日(土)神明中学校と高井戸第四小学校で小中一貫教育の取り組みとして「遊びのフェスタ」を行いました。

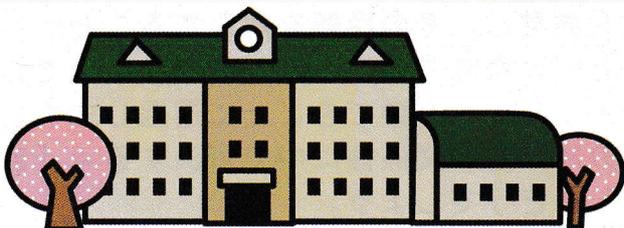
神明中学校の1年生が高井戸第四小学校を訪れて、小学1年生、2年生、3年生と一緒に「けん玉」や「折り紙」、「あやとり」、「こま回し」などの懐かしい遊びや、紙飛行機を飛ばして遊ぶなど、楽しく交流することができました。

また、4年生、5年生、6年生が神明中学校を訪れて、部活動の見学をしてもらいました。小学生たちは、初めての部活動の様子を見て、説明を聞き、興味津々だったようです。

当日は、高井戸第四小学校のボランティアや地域の方々にもお手伝いいただきました。本当にありがとうございました。



【心温まる3年生を送る会】



3月10日(土)の1校時に3年生を送る会を体育館で行いました。

卒業する3年生へ感謝の気持ちを表すことができた温かい雰囲気を送る会となりました。

部活動では下級生から3年生へのメッセージが送られ、お世話になった感謝の気持ちを伝えました。

1, 2年生からは、記念品として、2年B組の矢崎薫風さんデザインのマグカップが贈呈されました。

3年生は、1, 2年生の思いをしっかり受け止め、安心して新しい生活への準備ができることでしょうか。そして、大切な思い出の1ページになることでしょうか。